

# 2011 / 3期 第2四半期決算説明会

株式  
会社 **フォーバル**

2010.11.25

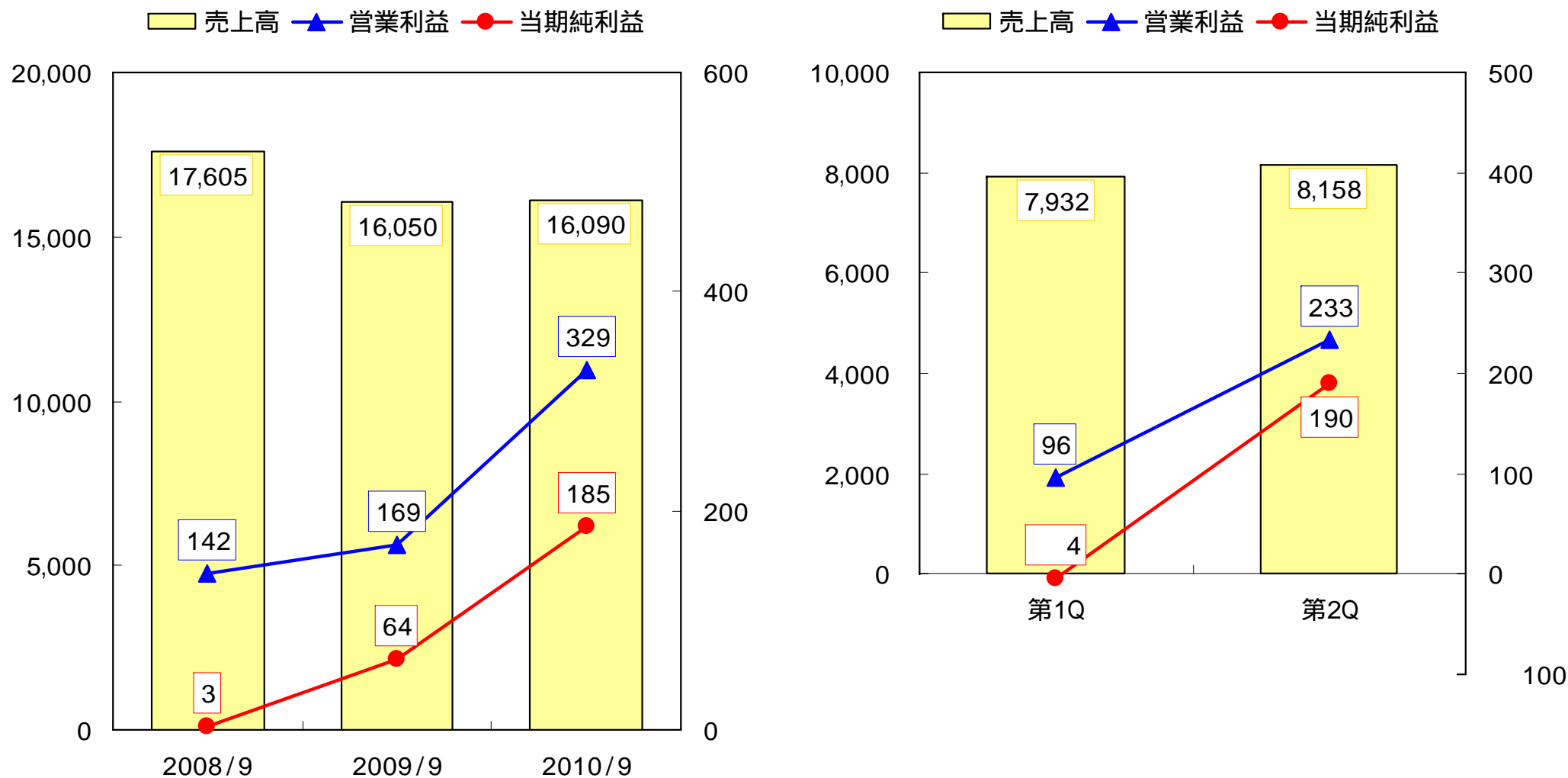
# 第2四半期連結決算概要

利益の更なる改善

財務体質の強化

アジア展開の加速(カンボジア現法設立)

## 利益が着実に改善

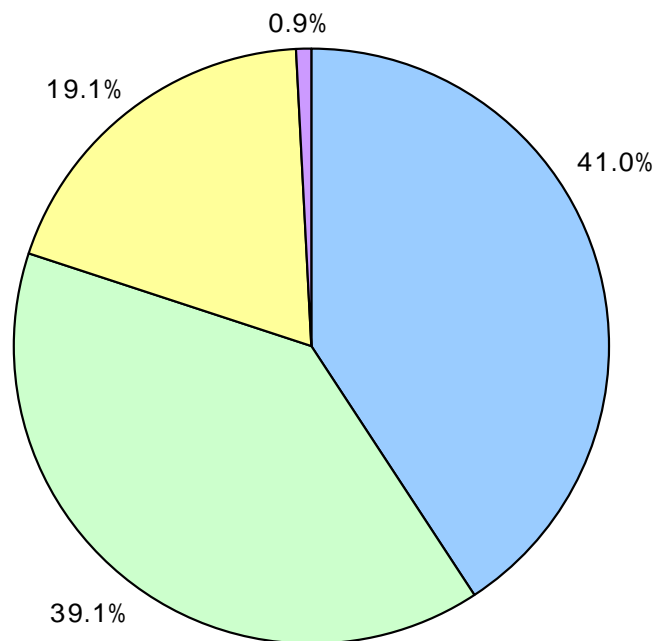


単位: 100万円

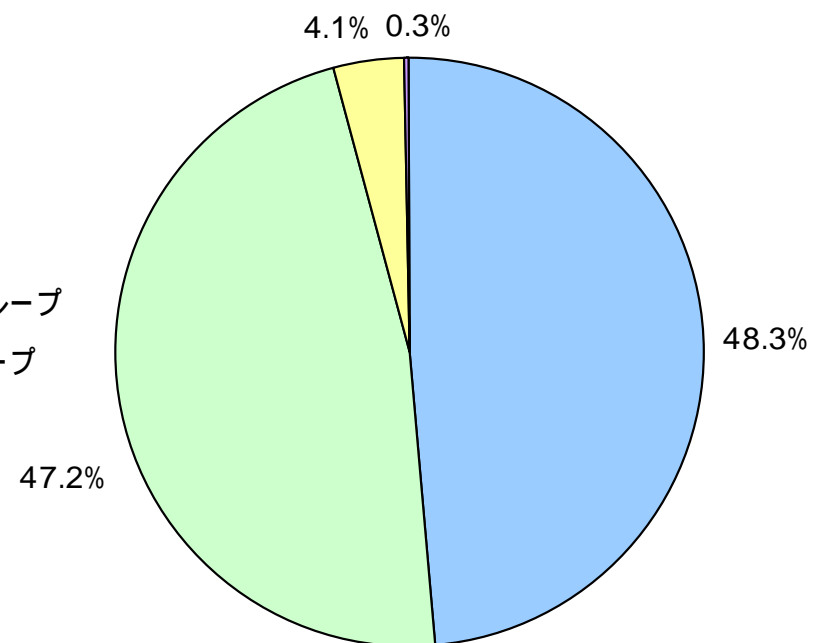
	2010/9				2009/9		2010/9	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
売上高	16,090	100.0%	40 [0.3%]	109 [ 0.7%]	16,050	100.0%	16,200	100.0%
売上総利益	4,549	28.3%	307 [7.2%]		4,242	26.4%		
販管費	4,220	26.2%	147 [3.6%]		4,072	25.4%		
営業利益	329	2.0%	159 [94.2%]	129 [64.8%]	169	1.1%	200	1.2%
経常利益	328	2.0%	174 [112.5%]	128 [64.4%]	154	1.0%	200	1.2%
特別損益	84		59 [-]		25			
当期純利益	185	1.2%	121 [189.3%]	85 [85.1%]	64	0.4%	100	0.6%

単位:100万円

売上高

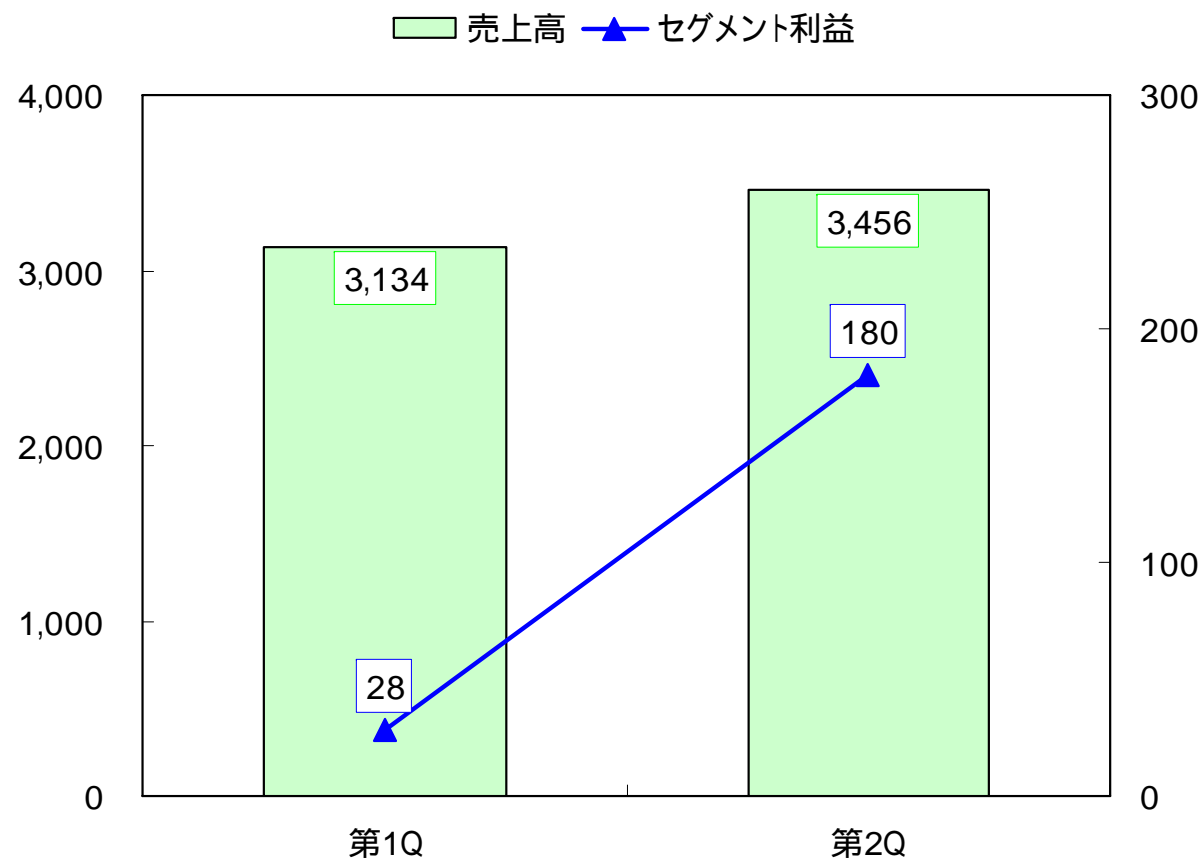


セグメント利益



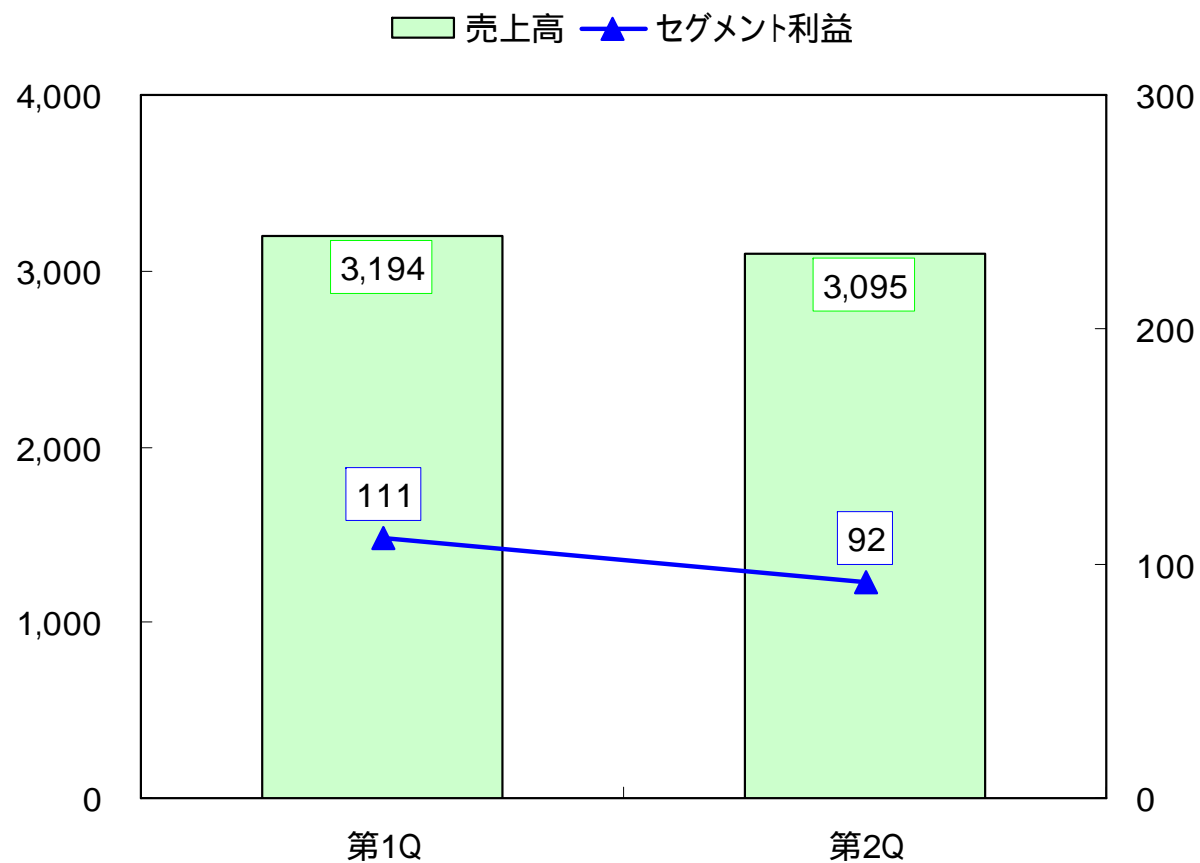
- フォーバルビジネスグループ
- フォーバルテレコムビジネスグループ
- モバイルショップビジネスグループ
- その他

## フォーバルビジネスグループ



単位:100万円

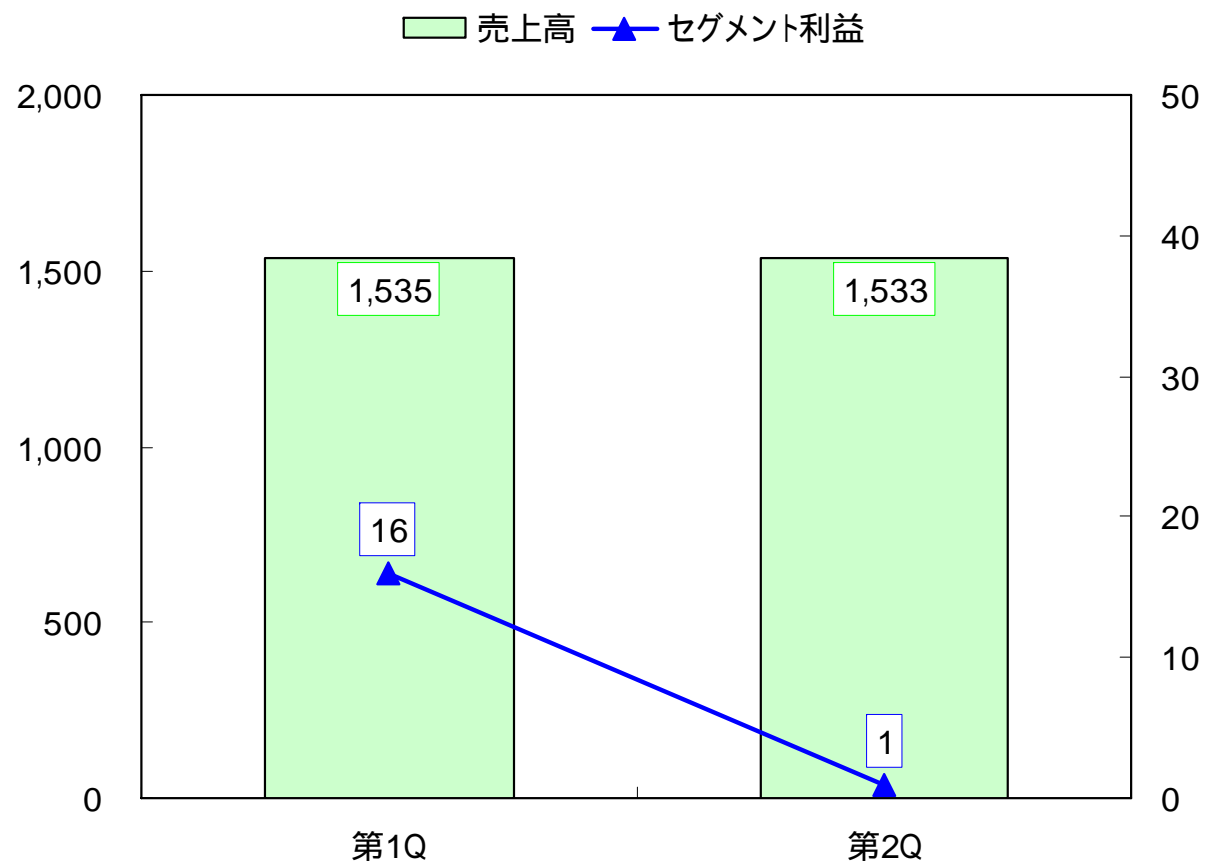
## フォーバルテレコムビジネスグループ



単位:100万円

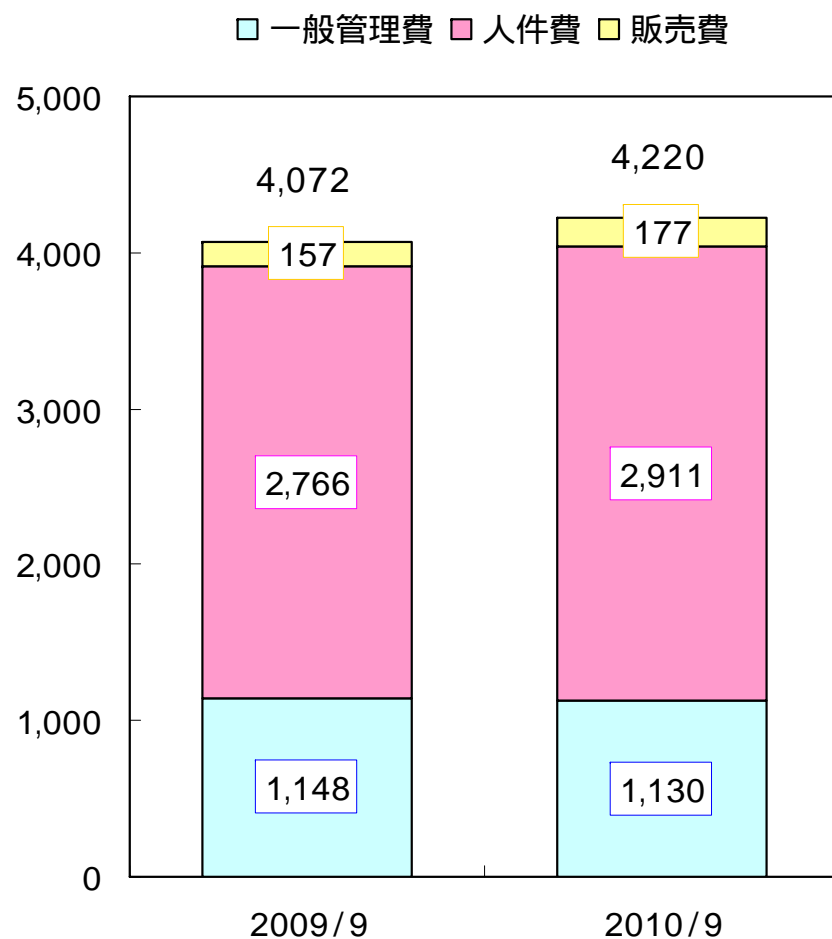


## モバイルショップビジネスグループ



単位:100万円

## 前年同期比3.6%増加



単位: 100万円

### 販売費

前年同期比 20【12.8%】

販売促進費、広告宣伝費等の増加

### 人件費

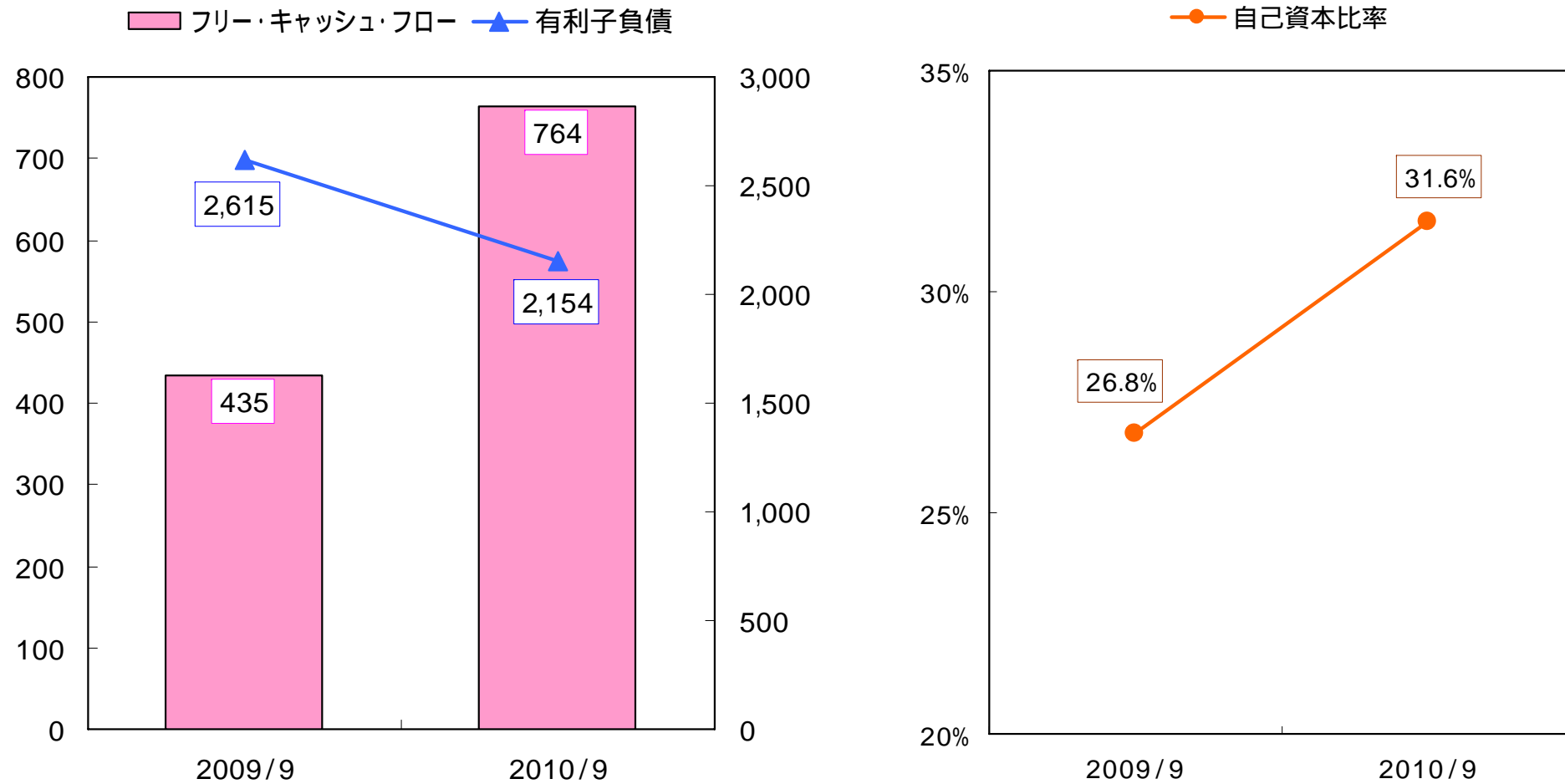
前年同期比 145【5.2%】

賞与引当金繰入額、役員賞与引当金繰入額等の増加

### 一般管理費

前年同期比 17【 1.5%】

地代家賃等の削減



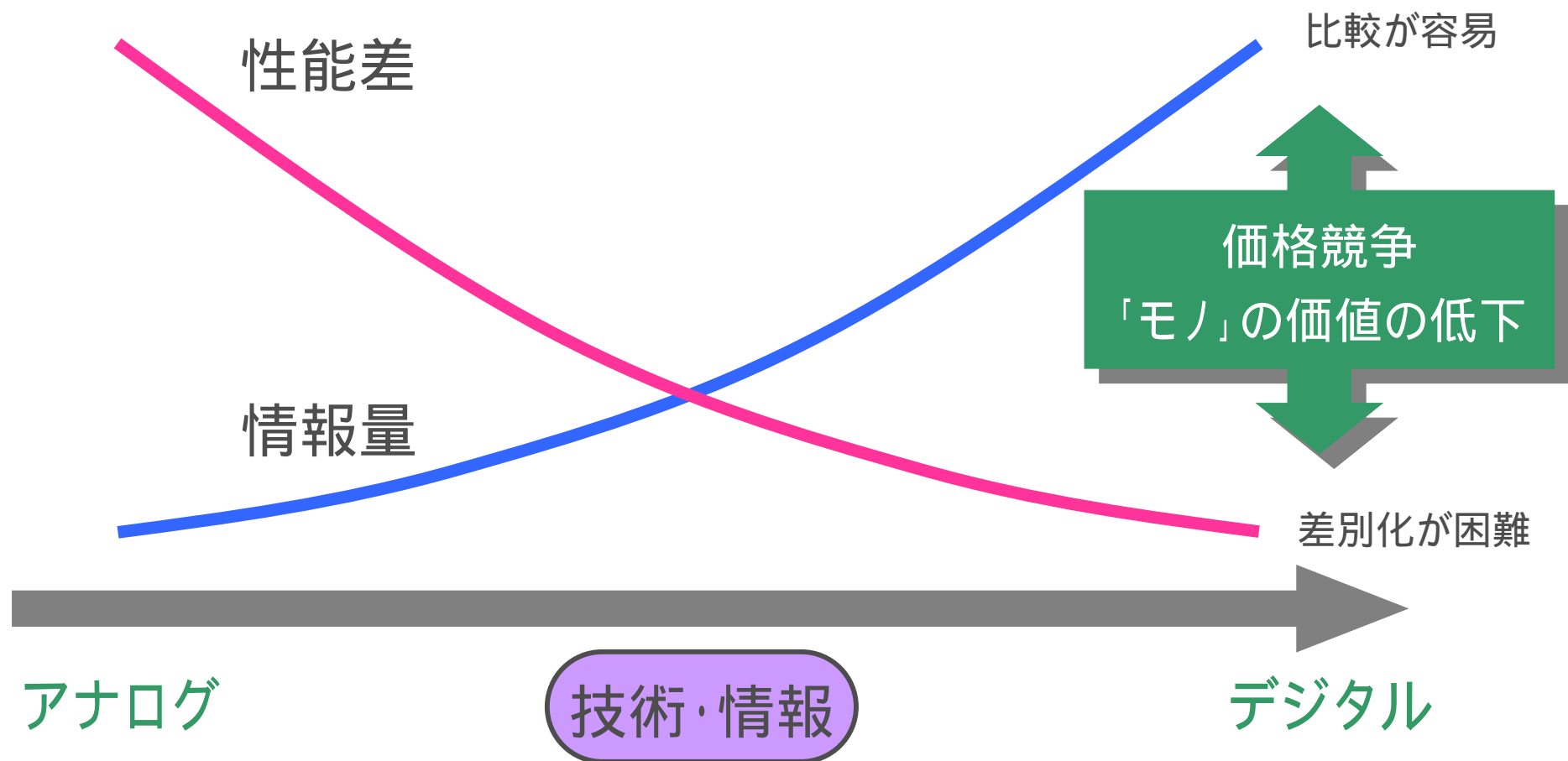
単位: 100万円

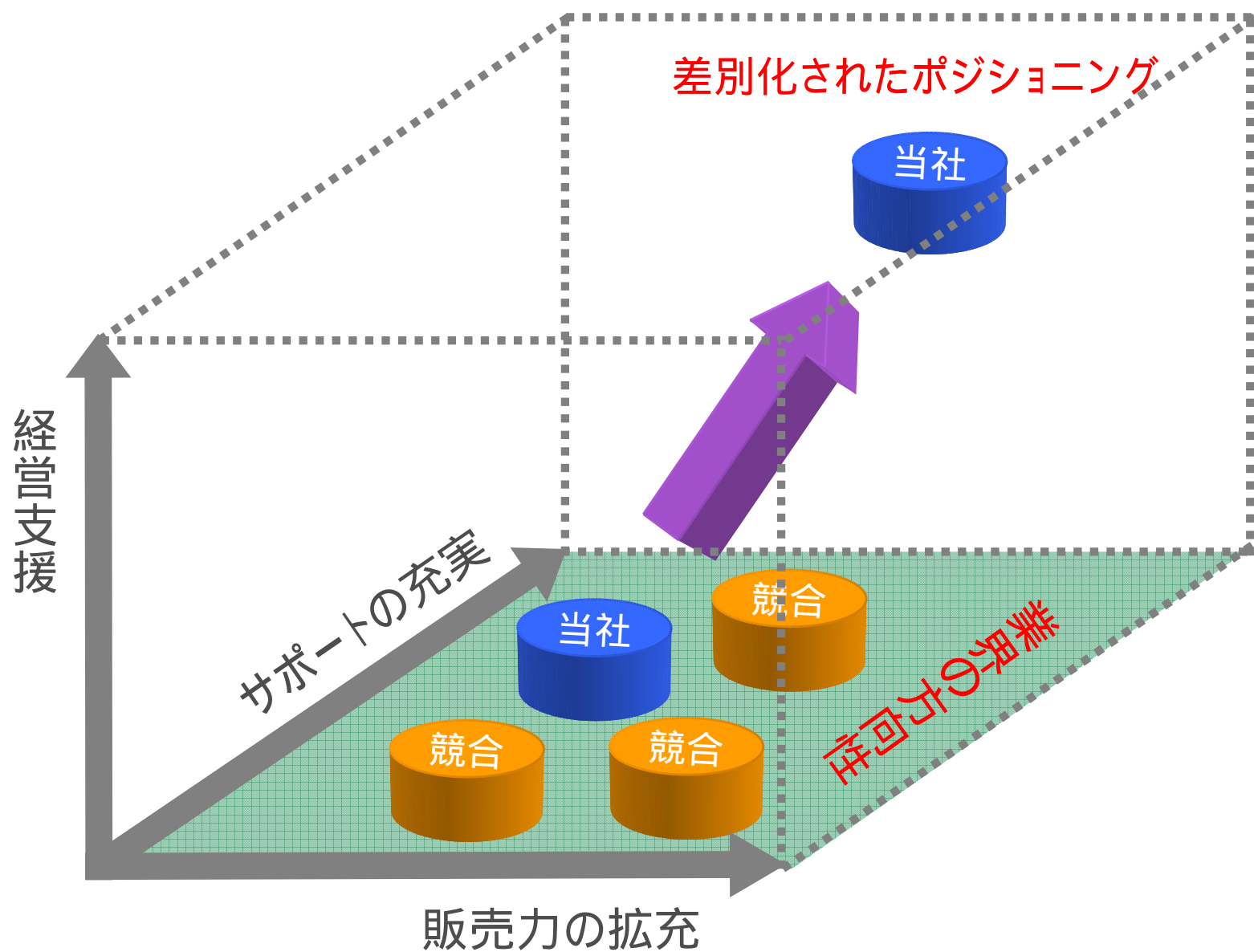
	2011/3期予想					2010/3期	
	通期予想	売上比	前期比	期初予想	売上比	実績	売上比
売上高	34,000	100.0%	1,793 [5.6%]	34,000	100.0%	32,206	100.0%
営業利益	700	2.1%	176 [33.7%]	600	1.8%	523	1.6%
経常利益	700	2.1%	221 [46.3%]	600	1.8%	478	1.5%
当期純利益	400	1.2%	49 [11.0%]	300	0.9%	449	1.4%

単位:100万円

# フォーバルグループの成長戦略

『情報通信コンサルタント』として  
企業経営を支援する集団となる！







## 資格取得率

インターネット検定  
ドットコムマスター  
72.4%

個人情報保護士  
59.4%

## 情報通信を活用した経営の高度化

経営資源

ヒト

モノ

カネ

情報

ヒト・モノ・カネでは大企業が有利

情報をいかに経営に役立てるかが中小企業の命運を左右する

## 海外の成長機会の取り込み

アジアをはじめとした新興国への進出が不可欠

フォーバルグループはこの2つのテーマを徹底的に支援していく

# 情報通信を活用した経営の高度化

1. 顧客数(ビルングユーザー)の拡大



2. アイコンユーザーの拡大



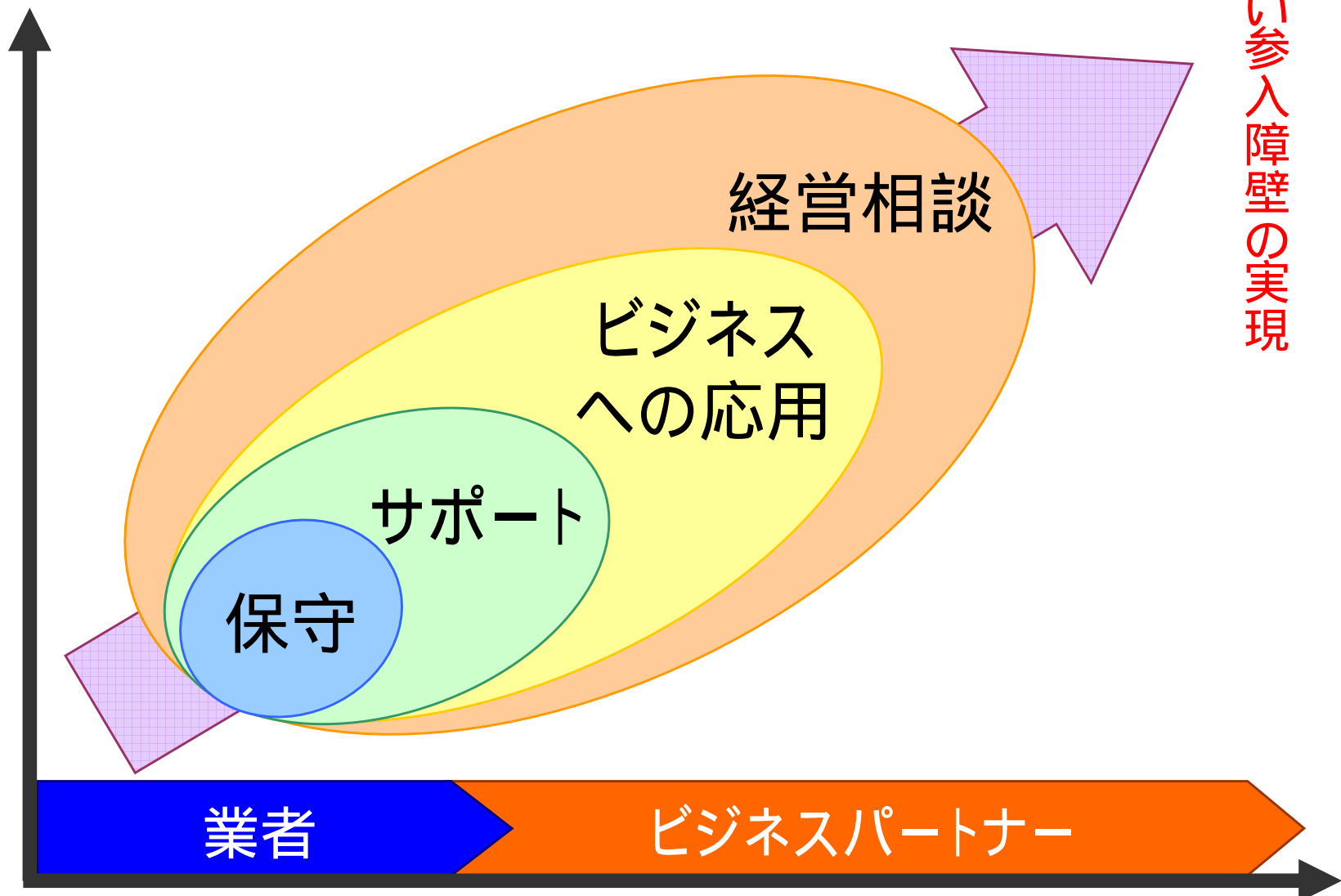
3. 経営コンサルユーザーの拡大



## アイコンサービスとはストック型の定期訪問付きサービス

- よろず経営相談
  - Officeアプリ問合せ対応
  - パソコン遠隔サポート
  - パソコンログサポート
  - パソコン・サーバーの遠隔監視
  - サーバー運用サポート
  - ネットワーク保守・障害対応
  - 電話機の保守・障害対応
  - 複写機・複合機のメンテナンス
  - WEB運営助言・更新サポート
  - WEBコンサル
  - 経営コンサル
- etc.

ARPU



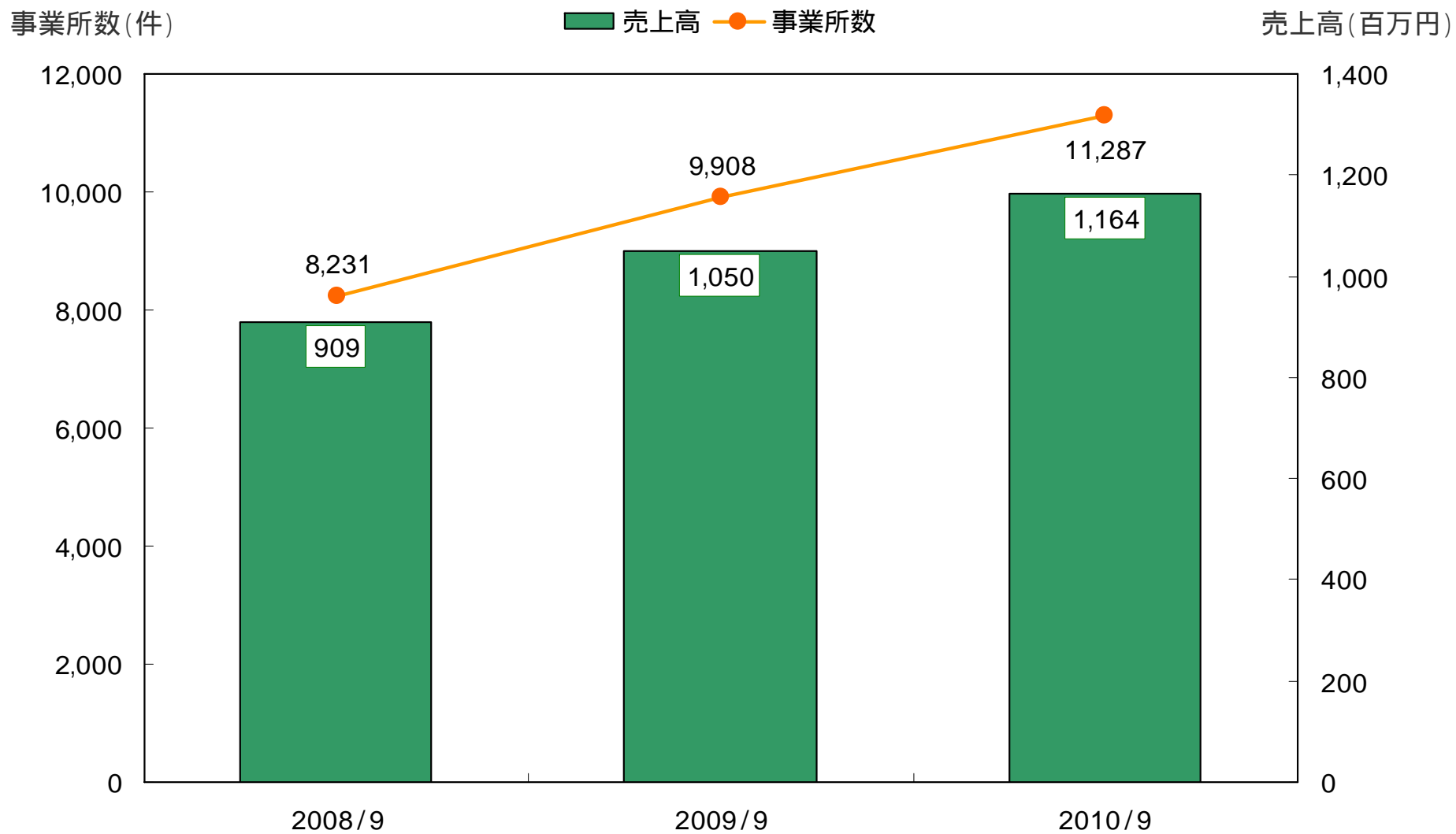
高い参入障壁の実現

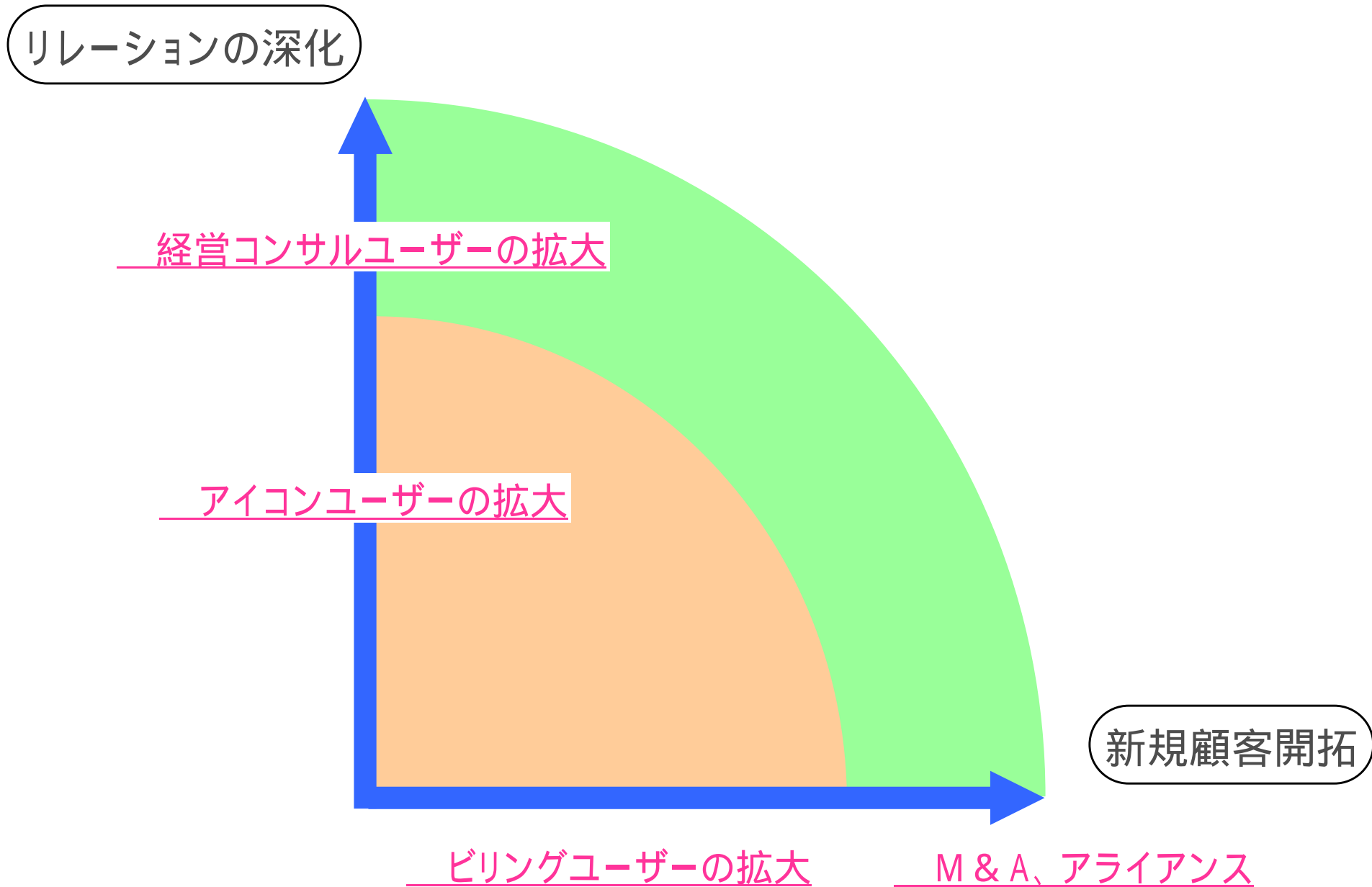
業者

ビジネスパートナー

顧客リレーションの深化

## 新サービスは順調に拡大

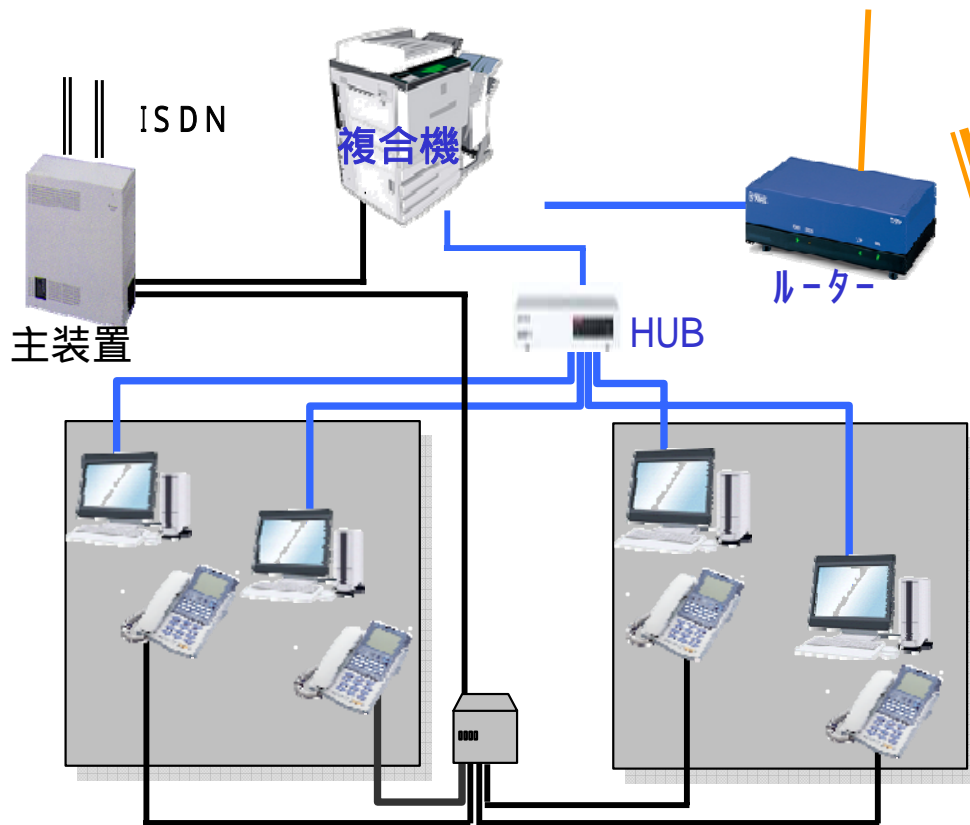






# スマートフォンを配り、インフラを押さえる！

複数社によるインフラ・ハードの提供



ツウウェイスマート  
2way Smart により、インフラや機器が、  
IP統合される。

**無自覚的なIP統合化**

ツーウェイスマート

**2way Smart**

ツーウェイスマートで、アイコンユーザーを増やす

LAN環境での設置により、次世代セキュリティ  
ビジネスのチャンス

クラウドコンピューティングでのアプリケーション  
収益の拡大

# 海外の成長機会の取り込み

タイ






ベトナム

カンボジア

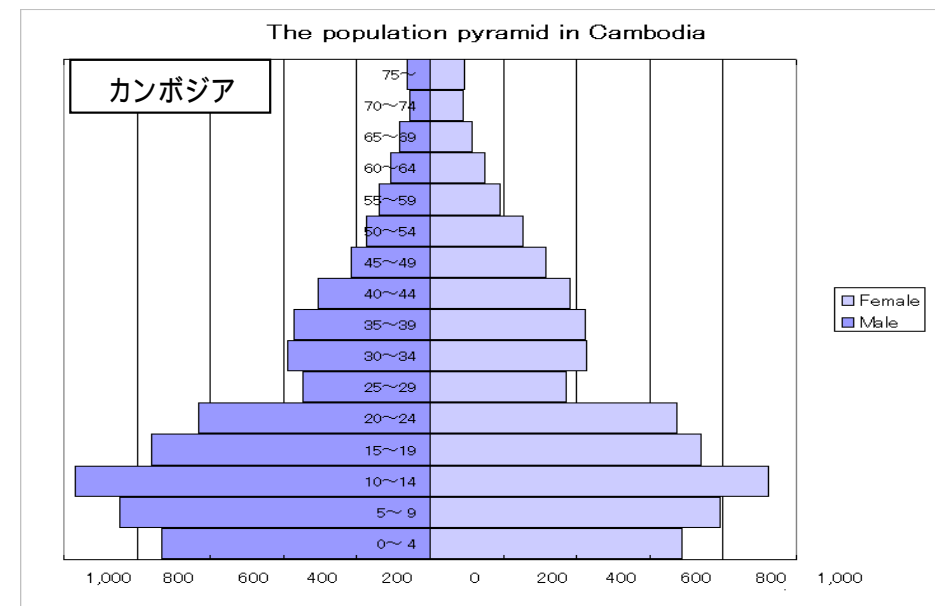
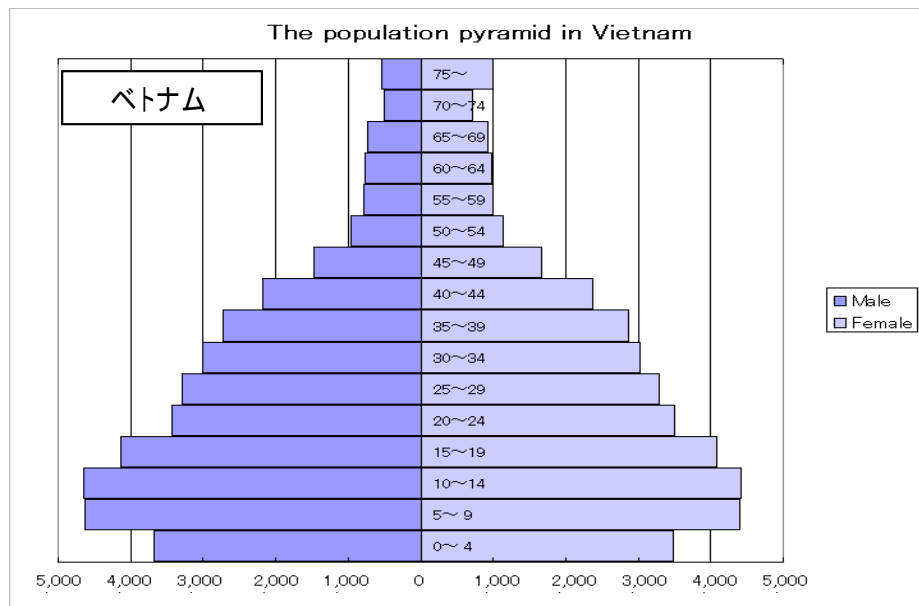
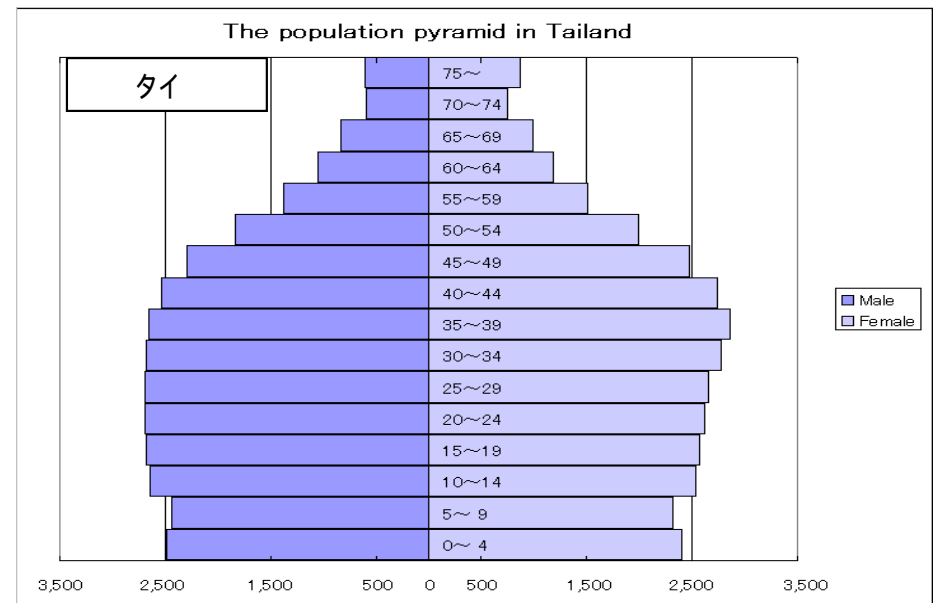
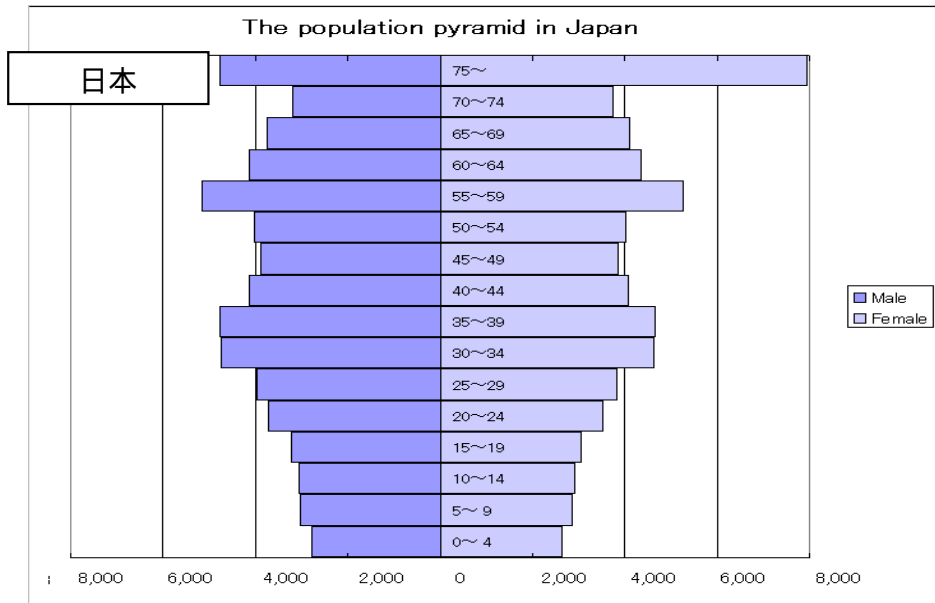
ラオス

ミャンマー



	タイ	ベトナム	カンボジア	ラオス	ミャンマー
					
面積【万km <sup>2</sup> 】	51.4	32.9	18.1	24.0	68.0
人口【万人】	約6,338 (2008年末)	約8,579 (2009年4月)	約1,340 (2008年)	約640 (2009年IMF推定)	約5,322 2004年
政体	立憲君主制	社会主義共和国	立憲君主制	人民民主共和制	軍事体制
GDP【億ドル】	2,639 (2009年)	915 (2009年)	111 (2008年)	56 (2009年IMF推定)	226 (2008年)
一人当たりGDP【ドル】	3,923 (2009年)	1,064 (2009年)	774 (2008年)	878 (2009年IMF推定)	462 (2008年IMF推定)
経済成長率	-2.2% (2009年)	5.3% (2009年)	6.5% (2008年)	7.6% (2009年IMF推定)	4.5% (2008年IMF推定)
在留邦人数【人】	45,805 (2009年10月)	9,468 (2009年10月)	827 (2008年10月)	490 (2009年10月)	530 (2008年5月)
製造業・作業員賃金【ドル】 (基本給・月額)	263	107	101		41

賃金：在アジア・オセアニア日系企業活動実態調査(2010年度調査)、JETRO その他：外務省・現地日本大使館ホームページより



日本: 総務省統計局「人口推計」による10月1日現在

その他: 国際連合「World Population Prospects: The 2006 Revision」

バンコク(タイ)  
人口:約571万人  
(2008年末)



プレンペン(カンボジア)  
人口:約133万人  
(2008年)

**南部経済回廊**  
ホーチミン(ベトナム)  
人口:約635万人  
(2007年)

人口:現地日本大使館ホームページより

## 経済特区： Special Economic Zone



現在認可されたSEZは21ヶ所



## 現地法人概要

【会社名】FORVAL (CAMBODIA) CO.,LTD

【設立日】2010年4月29日

【資本金】400,000,000リエル(フォーバル 100%)

【代表者】代表取締役社長 水越 健晴

【所在地】The iCON Professional Building, 216 - Norodom, Blvd.,  
Tonle Bassac, Chamkarmon, Phnom Penh, CAMBODIA

## 「検討段階」

feasibility study

レンタルオフィスの  
提供

現地視察ツアー

## 「進出後」

現地法人  
設立

現地スタッフ  
雇用

総務・経理などの  
バックオフィス業務

OA・ネットワーク  
環境等のITサポート

## – サポート内容

- 企画(要求仕様のとりまとめ)
- 購買(現地のIT機材流通業者との交渉を含む)
- 設置・設定(エンジニアの出張派遣と作業・作業監督)
- 稼働保守(エンジニア常駐から緊急対応まで)

特にプノンペン経済特区(PPSEZ)では管理会社の事務所に  
ITサポート窓口を開設し、ITエンジニアを常駐



## – 事例

- AJINOMOTO (CAMBODIA) CO., LTD.様 (PPSEZ内)  
ローカルパートナーとしてOA機器導入 & NWサポート
- ジェトロプノンペン事務所様  
OA機器 & NWサポート                      etc.

### 将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提(仮定)等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。